

日販連通信

第 49 号
2012 年 7 月 14 日 発行

発行者：日本販売農業協同組合連合会
中塚 敏春

住所：〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-5-5
新宿農協会館

電話：03-3375-6399 Fax：03-3375-6637

Eメール：info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp

水害の今日、日販連大分県下郷農協に山道から到着
15日まで通行止め、16日から来てください

事態最悪

下郷、再びの大洪水で大被害、最悪の
被災に最大限の支援を要請します。

**お願いです!!災害ボ
ランティアを派遣して
ください。**

中津市耶馬溪では、7月11日の降り始めからの雨量が380mmに達していて、14日朝の1時間雨量は70mmとなる非常に激しい雨が降りました。

山国川河川事務所によると、川の水位は午前7時50分に8m41cmにまで上昇し、3カ所で氾濫が起きました。その後、少しずつ落ち着いてきてはいますが、午前11時50分現在も氾濫危険水位の4.8メートルを超える、5メ

一トール以上の状態が続いていました。このため、中津市は 3,263 世帯、8,024 人に避難勧告を出し、夜 9 時半に解除となりました。ニュースを見ていると、お土産屋のおばちゃんが、「7 月 3 日の水害からようやく片付いてこれからという時にまた、、、」と無き崩れる姿も映されています。地元の飲食店で大工に頼んで店を直したところも壊滅的被害です。住民総出で泥出した民家も今回 1 階部分がすべて流失しました。

耶馬溪にある本会会長農協の下郷農協でも復旧、復興に一步步き始めたところに、前回以上の水量と水圧の洪水が押し寄せ、一面が水没しました。

前回の本所、購買、食肉工場などはもちろんですが、今回はプラットホームの高床になっていた商品発送、野菜集荷場、米の精米施設、製茶小分け場などのお中元に向けた中枢施設が 1メートル浸水し、ドライ商品が浸水する大被害となりました。

被害に会った本日は農家組合員が本所などの泥出しを行いました。組合員自身の被災もひどく、特に山崎理事の水田は濁流が川となってすべて水没しました。山崎理事は東日本大震災直後に自らがトラックを運転して東北に支援物資を届け、3 日の被災には自分の水田の被害も省みずに農協の復興の先頭に立っていたその人です。

東日本大震災では 3 月 11 日に被災、それから復興、復旧作業が行われましたが 4 月 7 日に再びの大地震で、どれだけ精神的打撃となったでしょう。今回もまったく同じで、復興作業が順調だっただけに矢崎組合長以下役員は疲労感でいっぱいです。全国の下郷農協を思う気持ちを大結集してください。そして励ましてください。

16～17 日災害ボランティア急募

全国の生産者、消費者、下郷農協と産直に

ゆかりある方々に、全面的支援を心から呼

びかけます。

7 月 16～17 日に最大限の復興ボランティアを呼びかけます。とにかく人手がいらします。

作業は泥出し、洗浄、清掃です。汚れても良い支度、長靴(必携)、手袋などをご参加ください。

できればワイパーモップ(先端にゴム付)、雑巾用タオル、モップをご持参ください。

■日田市、中津市はどこも道路が通行止めですので、**15 日は入らないでください。くれぐれも 16 日早朝から下郷に入ってください。**

■現地連絡先 中塚携帯 090-8598-9607(事前に必ず連絡してください)

■宿泊 旅館「かぶとや」

残念ながら今回被災して、大浴場が使えません。ユニットバスでのシャワーのみです。

食事は豪勢で万全です。

■アクセス(福岡空港から 2 時間半) **福岡空港 16 日 10 時前後を予約してください。**

福岡空港→レンタカー→下郷農協 NAVI 設定→大宰府インター→日田インター→国道 202 号

■下郷農協

〒871-0431 大分県中津市耶馬溪町大字大島 215-4 下郷農業協同組合

代表理事組合長 矢崎和廣(日販連会長)

TEL 0979(56)2222 fax 0979(56)3117

水害義援金のお願い

あまりにも被害が甚大ですので、下記の水害支援募金をもう一回り大きな金額でお願いします。

大分県下郷農協の洪水被害復興募金のお願い

2012年7月10日

農民運動全国連合会
農民連ふるさとネットワーク
日本販売農業協同組合連合会

7月3日、大分県中津市耶馬溪で1時間に91ミリという、観測史上最大の豪雨で山国川が大氾濫し、中津市、日田市などで深刻な被害が発生しました。中津市耶馬溪町では、行方不明者1人、住宅の全半壊、床上浸水、床下浸水、農地の冠水や土砂被害、取水口農業用水路の破損、橋梁の流失など、被害は甚大です。

下郷農協のある耶馬溪・大島地区では、農協事務所内にひざ上を超える水が押し寄せ、食肉工場、購買店舗、農産工場などが水没しました。なかでも、山国川沿いにあった鶏肉処理場は、休憩所や倉庫を含めて津波被害同様に基礎部分を残して流失し、作業をしていた職員1名が行方不明となり、未だに発見されない痛ましい事態となってしまいました。

こうした中で下郷農協は、役職員、組合員が自らの被害も省みずに一丸となって泥にまみれた事務所、施設等の復旧作業に全力あげました。

4日から日販連が中塚専務を先頭に4人が応援に駆けつけたのをはじめ、綾町農協6人、福岡県農民連10人、供給センター長崎9人、大分県内のJAグループ、グリーンコープなど、3日間にのべで約100人のボランティアが駆けつけて復旧作業を行いました。農民連本部（笹渡事務局長、満川「農民」新聞記者）と農民連ふるさとネットワークの代表（紀ノ川農協松本専務）もお見舞いに駆けつけて激励したところです。

こうした集中的なとりくみで、下郷農協の関係施設の復旧はほぼ終了し、9日から日常業務を回復させていますが、鶏肉処理場の流失をはじめ、ATM自動預け払い機、10台以上のトラックや営業車両、在庫製品や資材など、下郷農協の被害は数千万円に及ぶものと思われます。

地域でも、山国川周辺は、住宅がことごとく破壊され、いくつもの橋が流されたままであり、被害の凄まじさは津波を想定させるほどのものです。道路の破損や土砂崩れは、今後、二次被害が心配される状況にあります。川沿いの水田の多くが土砂で覆われ、一見、何もなかったように青々した水田も、堰や取水口、水路が破損しており、迅速な復旧がなければ被害がさらに広がる可能性があります。

下郷農協は、産直の原点であり、組合員や住民、農業と農山村の復権を願う多くの人々にとって宝の存在です。この間の様々な事情で経営再建途上にある下郷農協にとって、今回の豪雨被害は余りにも深刻であり、全国から激励と資金の緊急支援が強く求められています。

農民連と農民連ふるさとネットワーク、日販連は、連携して下郷農協の復興を全力でサポートする決意です。全国から「下郷農協の洪水被害復興募金」にご協力くださるよう心からお願い申し上げます。

○激励先 〒871-0431 大分県中津市耶馬溪町大字大島215-4 下郷農業協同組合
Tel 0979 (56) 2222 fax 0979 (56) 3117

○募金振込み先

金融機関 みずほ銀行 新宿新都心支店

預金種目 普通預金

口座番号 1 6 3 3 7 4 1

口座名義 日本販売農業協同組合連合会

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。 アドレス: info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp